

千葉県内企業の社長年齢分析調査（2024 年）

社長の平均年齢 61.2 歳へ上昇、過去最高を更新**～ 社長の 83.2% が「50 歳以上」～****はじめに**

いわゆる「団塊の世代」の多くが 75 歳以上の後期高齢者となる今年は、高齢化が更に進むことによる様々な課題が表面化する懸念を受け、「2025 年問題」の年といわれている。

帝国データバンク千葉支店が実施した調査では、2024 年における千葉県内企業の後継者不在率は過去最低の 42.2% となった。円滑な事業承継には中長期的な準備期間が必要であるが、足元では社長の高齢化に歯止めがかからない状態が続いており、事業承継中に発生した想定外の事態などで事業継続に影響を及ぼすケースもみられる。そこで、2024 年 12 月時点における社長年齢に関する調査を実施。全国調査分から千葉県内に本社を置く企業を集計・分析した。

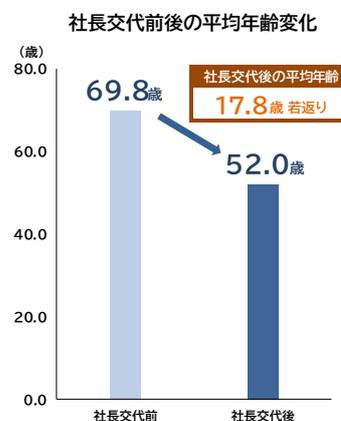
※本調査では、企業概要ファイル「COSMOS2」（約 148 万社収録）から 2024 年 12 月時点における企業の社長データ（個人、非営利、公益法人等除く）を抽出し、集計・分析した。

調査結果（要旨）

- 2024 年時点における千葉県内企業の社長の平均年齢は 61.2 歳。前年を 0.2 歳上回り過去最高を更新。社長が交代した企業の割合は 3.34% で前年と同水準
- 年代別構成比をみると、「50 歳以上」の社長は 83.2% へ上昇、「40 歳未満」の社長は 2.9% にとどまる
- 業種別では、「不動産」が 63.8 歳で最も高く、「製造」、「卸売」、「小売」と続く
- 都道府県別でみると、秋田県と岩手県が 62.6 歳でトップ
- 交代した社長の就任経緯は「同族継承」が 46.2% でトップ、内部昇格が 31.5% で続く

社長の平均年齢は61.2歳で過去最高を更新、社長交代率は3.34%の低水準

千葉県内企業の社長の平均年齢は、統計として遡れる1990年からほぼ一貫して上昇し続けている。今回の調査でも同様の傾向となり、2024年は前年比0.2歳上昇して61.2歳となった。全国平均(60.7歳)を0.5歳上回っている。加えて、2024年における社長交代率は3.34%となり、前年と同水準で、1995年以降3%台が続いている。



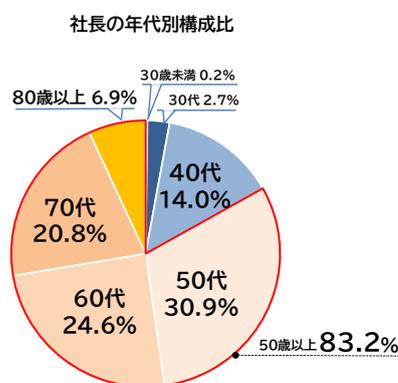
また、社長が交代する際の年齢は平均で69.8歳となり、前回調査(68.1歳)から1.7歳上昇した。社長交代後に就任する新社長の平均年齢は52.0歳となり、交代によって平均17.8歳の若返りがみられた。

<年代別構成比> 「50歳以上」の社長は83.2%へ上昇

2024年時点における社長の年代別構成比をみると、「50代」が30.9%で最も多く、次いで「60代」(24.6%)、「70代」(20.8%)などと続いた。

これにより、「50歳以上」が83.2%となった。「50歳以上」の割合は年々上昇し、2021年以降は8割以上を占めており、5年前の2019年(78.2%)に比べ5.0ポイント上昇した。

近年は、スタートアップなどの新興企業を中心に若手経営者に注目が集まっているものの、「40歳未満」は2.9%となっており、なかでも「30歳未満」はわずか0.2%にとどまり、若手社長の割合は依然として低い水準にある。



<業種別> 「不動産」が63.8歳と高水準

社長の平均年齢を業種別でみると、「不動産」が63.8歳で最も高かった。次いで「製造」(62.5歳)、「卸売」(62.4歳)、「小売」(61.4歳)が続き、千葉全体(61.2歳)を上回った。

他方、「その他」を除いて最も低かったのは「運輸・通信」の60.0歳で、「建設」(60.3歳)、「サ

ービス」(60.5歳)が続いた。

1995年と比べて、最も上昇した業種は「不動産」で、+9.0歳だった。次いで「サービス」(+7.5歳)、「卸売」(+7.3歳)、「小売」(+7.0歳)、「建設」(+6.9歳)などと続いた。

社長の平均年齢・業種別(推移)

	(歳)							対95年比
	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2024	
千葉全体	54.5	56.2	57.9	58.7	59.6	60.6	61.2	+6.7
建設	53.4	55.4	57.3	57.7	58.4	59.5	60.3	+6.9
製造	56.6	58.2	59.6	60.7	61.5	62.0	62.5	+5.9
卸売	55.1	56.8	58.6	59.9	61.1	61.9	62.4	+7.3
小売	54.4	56.1	57.9	59.1	60.2	61.1	61.4	+7.0
運輸・通信	54.7	56.4	57.1	58.0	58.8	59.5	60.0	+5.3
サービス	53.0	55.2	56.9	57.9	58.6	59.8	60.5	+7.5
不動産	54.8	57.5	59.3	60.3	61.9	63.4	63.8	+9.0
その他	54.8	56.7	57.1	58.3	58.0	59.5	59.6	+4.8

＜都道府県別＞ 秋田県と岩手県が62.6歳でトップ

全国の社長の平均年齢を都道府県別でみると、秋田県(前年比+0.1歳)と岩手県(同+0.2歳)が62.6歳で最も高かった。

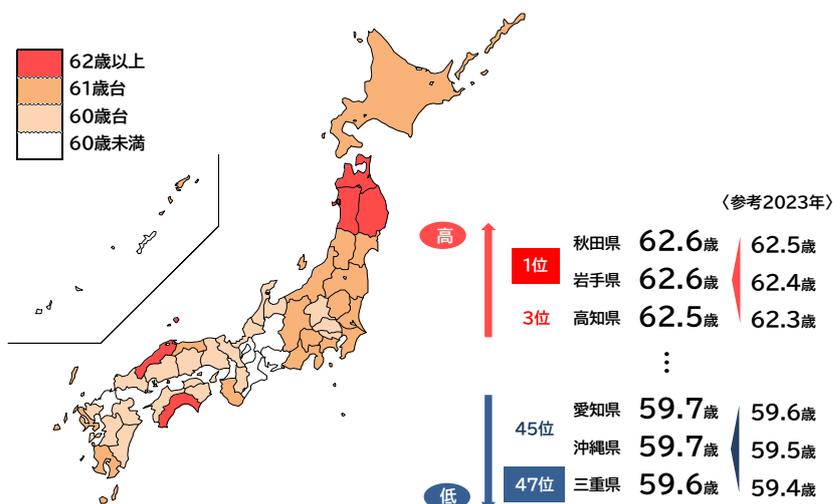
岩手県は5年ぶりのトップとなった。次いで、高知県(62.5歳、同+0.2歳)、青森県(62.3歳、同+0.1歳)などが続いた。とりわけ、東北地方の6県が全て全国平均(60.7歳)を上回り、社長の高齢化が顕著である。

一方、最も低かったのは三重県の59.6歳(同+0.2歳)で、8年連続で最も低かった。その他、愛知県や沖縄県(いずれも59.7歳)など、60歳を下回ったのは7府県だった。総じて、都道府県別の社長平均年齢は「東高西低」の傾向が強い。

なお、47都道府県のなかで、社長の平均年齢が前年から低下したのは、熊本県(60.1歳、同-0.1歳)と大分県(60.3歳、同-0.1歳)の2県のみで、同じく前年比横ばいは3県だった。

また、関東の1都6県では、茨城県が61.4歳で最も高く(全国順位13位)、東京都が60.1歳で最も低かった(同38位)。千葉県(61.2歳)は全国平均(60.7歳)を0.5歳上回り、神奈川と並び上から16番目だった。

社長の平均年齢・都道府県別



1都6県の社長の平均年齢

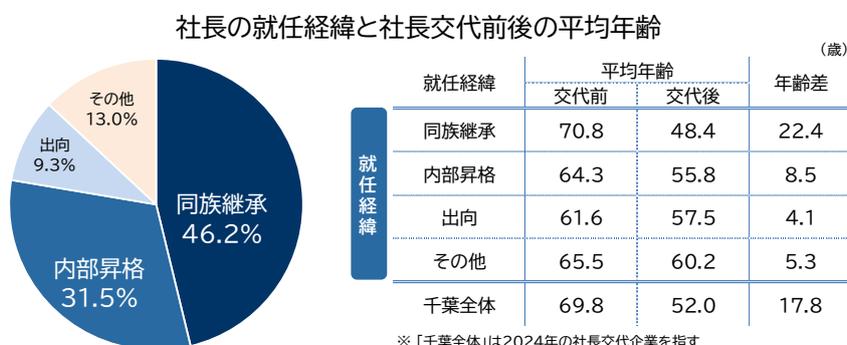
	2023年	2024年	全国順位
茨城県	61.3歳	61.4歳	13位
栃木県	60.9歳	61.1歳	19位
群馬県	60.8歳	60.9歳	22位
埼玉県	60.8歳	60.9歳	22位
千葉県	61.0歳	61.2歳	16位
東京都	60.0歳	60.1歳	38位
神奈川県	61.2歳	61.2歳	16位

社長の就任経緯、同族継承と内部昇格が多数

交代した社長の就任経緯を分析すると、「同族継承」が46.2%で最も高く、「内部昇格」が31.5%で続き、「出向」は9.3%だった。

就任経緯別に社長交代前後の平均年齢をみると、交代前は「同族継承」

が70.8歳で最も高く、「出向」が61.6歳で最も低かった。交代後では「出向」が57.5歳で最も高く、「同族継承」が48.4歳で最も低いことが分かった。交代前と交代後の年齢差でみると、「同族継承」が22.4歳で最も差が大きく、若返りが大幅に進んでいる。



まとめ

社長の平均年齢は上昇傾向が続き、過去最高を更新した。2024年の社長交代では17.8歳の若返りがみられたものの、交代率は3.34%と低位にとどまっている。このまま社長交代率が改善しなければ、更に社長の平均年齢は上昇しそうだ。

近年、後継者不在企業は年々減少しており、帝国データバンクが実施した調査では、2024年の千葉県内企業の後継者不在率は過去最低の42.2%まで改善している。しかし、後継者が決まっても事業承継が進まず、事業継続を断念せざるを得ないケースが更に増加する可能性がある。

こうした結果の一つとして、「経営者の病気・死亡」による倒産が増加している。2024年には全国で316件判明し過去最多の件数を記録、千葉県内でも17件判明している。社長が高齢になれば「不測の事態」が生じる可能性は高まり、企業経営にも重大な影響を及ぼしかねない。社長の高齢化に伴うリスクが高まるなか、十分な期間を設けた事業承継の実施に向け周到な準備が求められる。

株式会社帝国データバンク 千葉支店 支店長 湯田 国彦

【内容に関する問い合わせ先】 担当: 竹内 基

TEL 043-221-0404 FAX 043-227-5205

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。

著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。